

6月5日 全校朝会

初めに元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます！

6月になりました。「ふれあい月間」です。今日は、皆さんがごきげんな生活を送るための話をします。

3つの「い」、これは皆さん知っていますよね。3つの「い」とは、「いじめ、いじわる、いやがらせ」です。上ノ原小学校では、この3つの「い」を許しません。

皆さん大丈夫ですか？先生やおうちの人が見ている目の前で、3つの「い」をやってしまう人は少ないと思うのですが、どうも先生やおうちの人が見ていないところで、この3つの「い」をしてしまう人がいる



みたいです。ちょっと気に入らない友達の靴を隠してしまったり、消しゴムを取ってしまったり、誰も見ていないからと言って、そんなことをしてしまう人がいるようです。

「誰も見ていないから」「絶対ばれないし」と思っている人、大間違いです。じつは、皆さんがやっていることを必ず見ている人がいるのです。それは、誰だと思えますか。

そうです、自分です。悪いことをしてしまった自分のことを、必ず見ているもう一人の自分が、皆さんの頭の中にいるのですよ。その見ている自分は、「あっ、おまえ今悪いことしたな」「そういえば、この間、ずるいことやったよな」と自分がやったことを見て、いつまでも忘れずにいるのです。ですから、このようなことを続けていると、だんだんと自分で、自分のことが嫌いになってきて、「どうせ、わたしなんか・・・」「こんな事できっこないし、やりたくない」なんていうことが増えて、ますます嫌な自分になっていってしまうのです。何だか、こわいですね。

しかし、このいつも見ている自分は、悪いことばかりではなく、自分がやった良いことも見ていてくれます。ほかの人が誰も見ていないところで、ごみを拾ったり、友達の靴をそろえていたりする様子もしっかり見ているのです。そして、「おっ、おまえもなかなかやるな」「結構いいところがあるじゃないか」と自分のことを認め、褒めてくれるのです。このようなことが増えると、自分に自信がもてるようになり、自分のことを好きになってきて、いいことがたくさん起こるようになります。そして、毎日をごきげんに過ごすことができるのです。何だか、うれしいですね。

6月はふれあい月間です。今日は、皆さんがごきげんな毎日を過ごすために、3つの「い」はだめですよ、ということと、いつも自分のことを見ているもう一人の自分がいるんですよ、という話をしました。お話を終わります。

